コミュニケーションの形態

メディアによって、時間の合わせ方と相手の人数はどうちがうのだろう

	1対1 特定の相手と	1対多 1人から多くの人へ	多対多 多くの人どうしで
同期 同じ時間にやりとりする **すぐに反応が分かる。時間を合わせる必要がある**	 対面の会話  電話	 テレビ・ラジオ  ライブ配信	 ビデオ会議
非同期 別々の時間にやりとりする **自分の都合で送れる。返事に時間がかかることも**	 手紙  電子メール	 新聞・本  Webページ	 電子掲示板  SNS

目的に合わせて、メディアとコミュニケーションの形を選ぶ・組み合わせる

1対多は一度に多くの人に届くが反応が分かりにくい。多対多はだれもが発信でき広がりやすい。
例：急ぎの連絡は電話（同期）、記録に残したい連絡は電子メール（非同期）。

※ 模式図。同じメディアでも、使い方によって形態が変わることがある（例：SNSで1対1のやりとり）。